

## 地域コンテンツのコーディネートに関する調査概要

＜平成22年度 調査検討＞

## 【目的】

地域コンテンツの流通促進をテーマとして、地域コンテンツの企画、制作及び情報発信に係るコーディネートについて、それぞれのシーンにおける課題を検討し、地域住民連携による実フィールドでの検証を行いコーディネート手法の確立を目指す。  
地域コンテンツのコーディネートに関わる人材育成の取組を通して、地域ICT利活用の促進を図ることを目的とする。

## 【事項】

- (1) 地域住民連携による地域貢献を目的とした地域コンテンツのコーディネートにおける課題の検討
- (2) 上記(1)の課題を踏まえた地域コンテンツのコーディネート手法の検証
- (3) 地域コンテンツの継続した制作、利活用に繋がる仕組みづくりの検討、検証
- (4) 同・異業種メディアの広域連携の検討
- (5) その他、目的達成のための必要な事項の検討

## 【内容】

- (1) 地域住民連携による地域貢献を目的とした地域コンテンツのコーディネートにおける課題の検討  
一定の映像制作クオリティを所有する地域住民(大学生、地元ビデオクラブ構成員等)が連携し、地域貢献(観光促進、地場産品販売促進、文化・伝統継承など地域の個性や特色を表現し、長期的に地域へメリットを及ぼすもの)を目的とした地域コンテンツをコーディネートする機会を確保し、企画、制作及び情報発信における課題等について検討する。
- (2) 上記(1)の課題を踏まえた地域コンテンツのコーディネート手法の検証  
コーディネートの課程において提起された課題(テーマ選定(地域資源の発掘、確立)、共同制作による構成(ストーリー)、アプローチ手法(対象者、メディア選考、選択メディアによる配信効果など))について、実フィールドで検証を行い、地域へのメリット、その規模等を考慮したコーディネート手法にかかる手引き書を作成。
- (3) 地域コンテンツの継続した制作、利活用に繋がる仕組みづくりの検証、検証  
四国コンテンツ連携推進会議の成果を反映し、地域コンテンツの継続した制作及び利活用に繋がる仕組みづくりを検証する。  
また、既存マスメディアコンテンツ(特にCM、番組など)との比較による地域コンテンツの制作手法について検討するとともに、「地域コンテンツの共用を想定した情報通信メディア(H20調査結果)」を活用し、メディア仕様、映像、時間特性の面から今後想定されるメディアを含めた効果的なアプローチ手法について検討する。
- (4) 同・異業種メディアの広域連携の検討  
メディアへのアプローチ区分による地域内外への効果的な情報発信における広域連携について検討する。
- (5) その他、目的達成のための必要な事項の検討  
その他、地域コンテンツのコーディネートに関する調査の目的を達成するため、総務省四国総合通信局情報通信部情報通信振興課の指示により、所要の検討、資料の作成を行う。

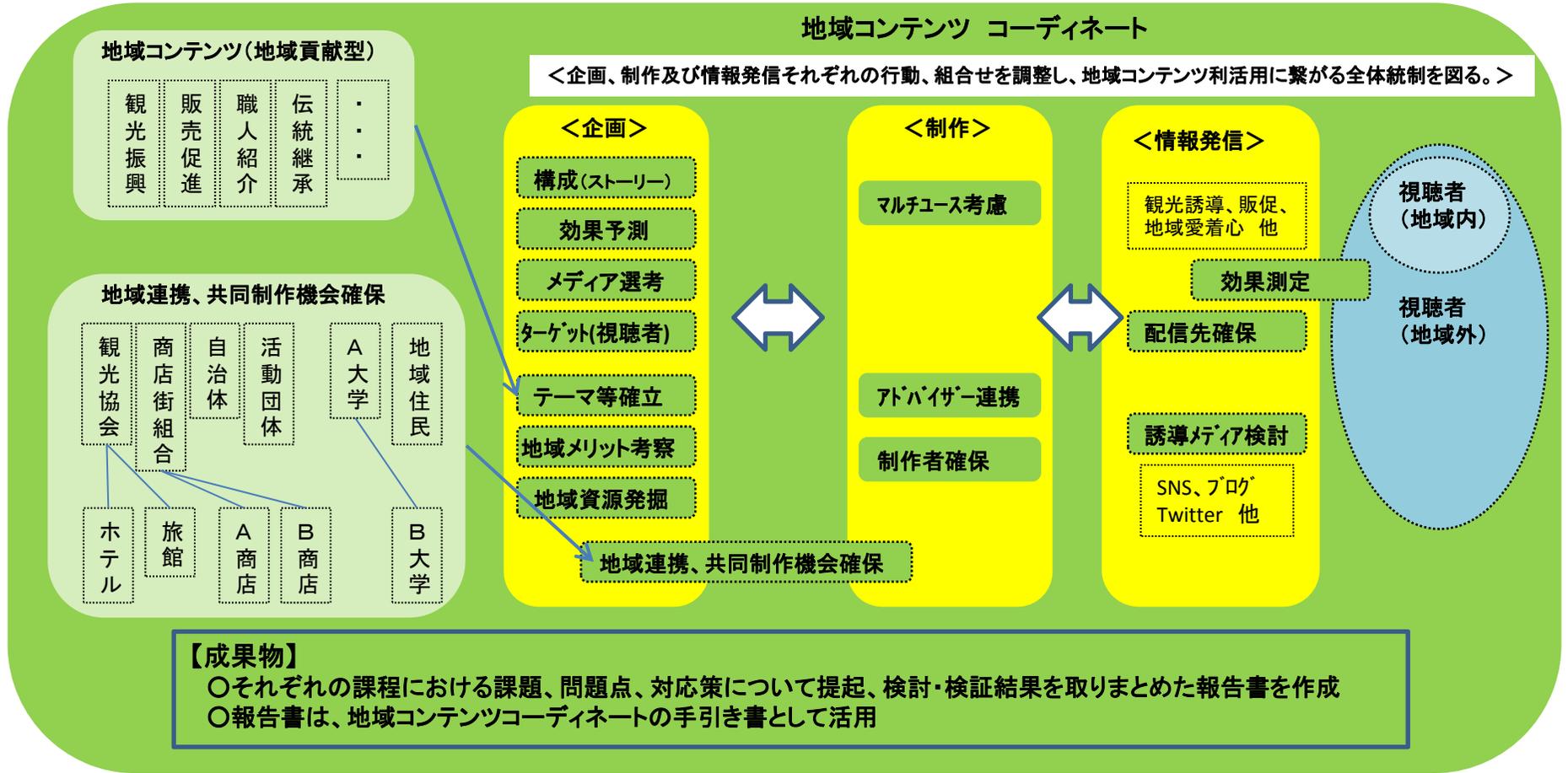
## 【効果】

- (1) 地域における連携はコミュニティを形成、拡大し、地域コンテンツの利活用に係る風土醸成に繋がる。
- (2) 地域コンテンツのコーディネート力向上及び検討、検証した内容は教材として反映できる。
- (3) 地域コンテンツマーケティングコーディネート(経済価値を生むコンテンツ)への展開の可能性をうむ。
- (4) 地域映像制作者など地域内雇用の可能性をうむ。

# 地域コンテンツのコーディネートに関する調査概要イメージ <平成22年度 調査検討>

地域コンテンツ流通促進による地域活性化のためには

地域の個性や特色を表現、波及効果として地域にメリットを生むコンテンツ企画が必要



**【展望】**

自立、自発的にマーケティングを含めた地域コンテンツのコーディネートは、能動的に経済価値を生み出す地域コンテンツの企画、制作及び情報発信を通して、認識を共有する地域組織の連携による利活用、視聴効果を高めて地域活性化に繋がることを期待される。